
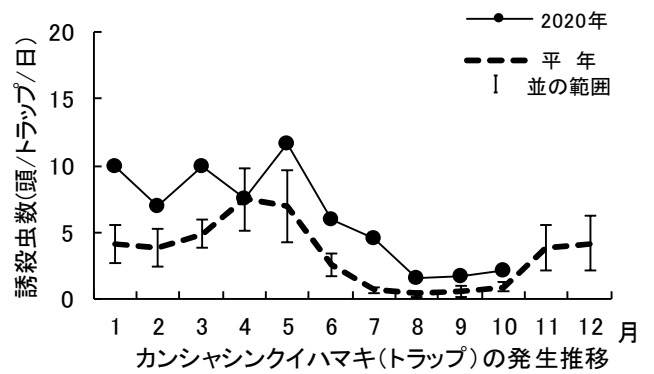
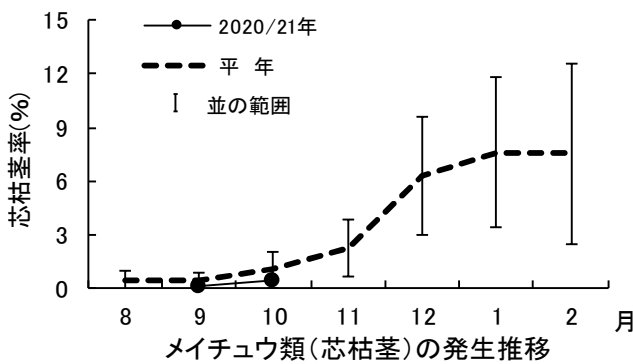


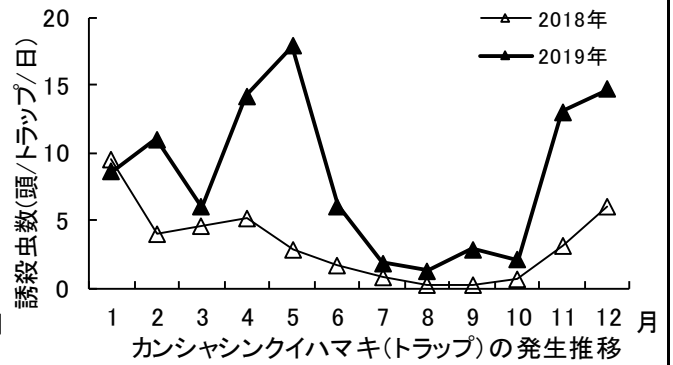
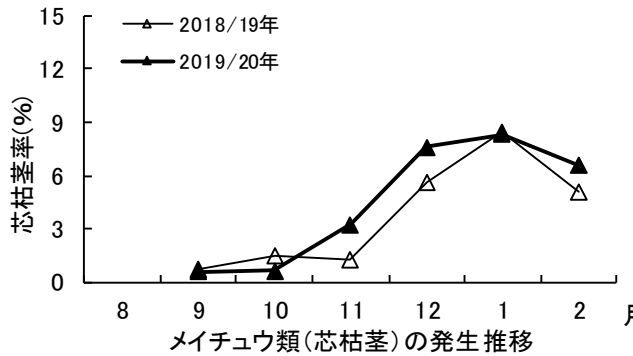
作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	① メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	↗	
		11 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移




過去2年の推移



- ・ 芯枯れ発生ほ場率：37.5% (平年値：62.6%)
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類のうち、33% (1/3頭) がカンシャシクイハマキであった。

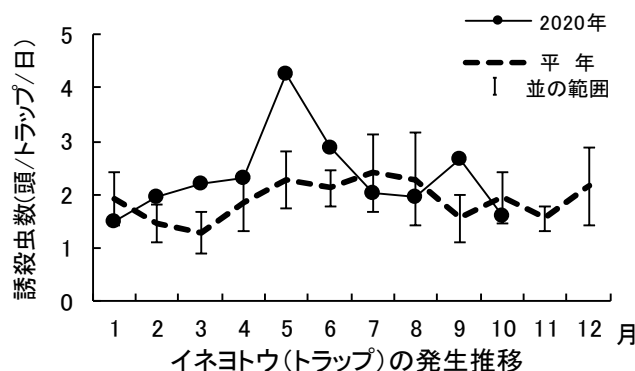
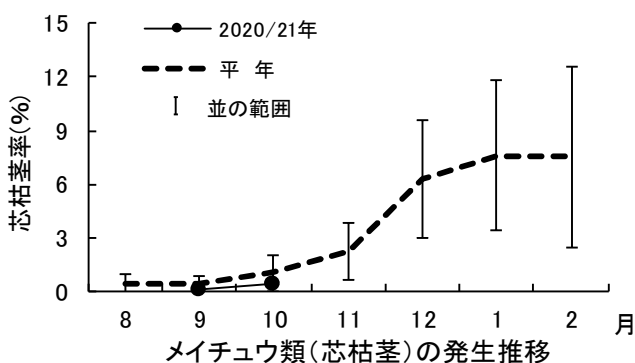
防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。

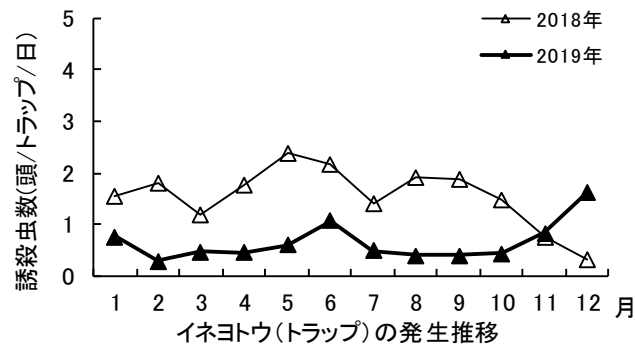
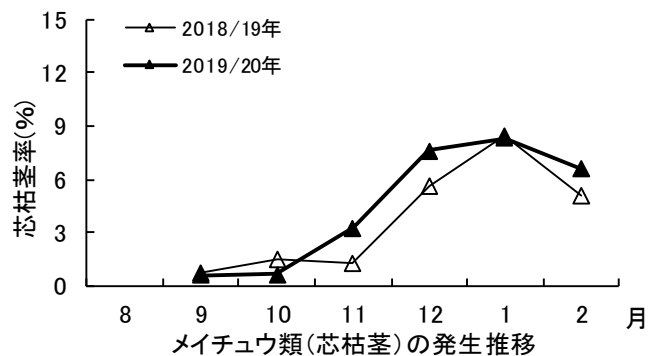
作物	さとうきび	地域	八重山群島
病害虫名	② メイチュウ類 (イネヨトウ)		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	並	
予報	10 月からの増減傾向	↗	
		11 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		芯枯茎率の平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今期と平年の推移



過去2年の推移



- ・ 芯枯れ発生ほ場率：37.5% (平年値：62.6%)
- ・ 茎内で発見したメイチュウ類のうち、67% (2/3頭) がイネヨトウであった。

防除のポイント

- ・ ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ 加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・ ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・ 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
- ・ 植え付け時及び培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。